都立国際高校　年間授業計画／Tokyo Metropolitan Kokusai High School　Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度	(Academic year)	令和７年度（2025年度）
開講学科	(Department)	国際学科国際バカロレアコース／IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科	(Subject Area)	家庭
科目	(Subject)	家庭基礎
学年･クラス	(Grade･Class)	1年A~F組
単位数	(Number of units)	2
使用教科書	(Text Books)	家庭基礎（自立･共生･創造） 東京書籍
校外学習	(Field trip)	なし

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

【知　識　及　び　技　能】(Knowledge and Skills)
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族･家庭の意義、家族･家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族･家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】(Ability to think、 make judgements、 express themselves)
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践し、その実践を評価･改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】(Motivation to learn、 Humanity)
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】(Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】(Ability to think、 make judgements、 express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】(Motivation to learn、 Humanity)
生活を主体的に営むために、人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活･環境などについて、必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践し、その実践を評価･改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

○ 授業計画 (Course schedule)

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	Alotted hours 配当時数
1学期 (1st semester)	オリエンテーション ･生活事象を多面的、科学的に理解する力を身に付ける。 ･持続可能な社会の実現を目指して主体的に行動する力と養う。 ･自身及び社会の生活に関して、問題を見いだし、課題解決に向けて行動する力を養う。 ･他者と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に行動する力を養う。 ･実践や考察を根拠とともに論理的に表現する力を養う。	･指導事項 家庭基礎の学び方 1年間の学びの道筋 夏期課題について SDGs ･教材 教科書･生活学NAVI･プリント	❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・1年間の学びの道筋を理解しようとしている。			○	1
	第1章　生涯を見通す 【知識・技能】 ･ライフステージ毎の特徴や課題を理解する。 ･生活設計に必要な要素を理解する。 【思考・判断・表現】 ･ライフステージ毎の課題を踏まえ、現在の自分自身の課題を考える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ･今の自分について自己分析を行い、主体的に生活設計に取り組む態度を養う。	･指導事項 ライフステージ毎の特徴と課題 18歳成人 生活設計 価値観の形成 ・教材 教科書･生活学NAVI･プリント	❶【知識･技能】 ･ライフステージ毎の特徴や課題を理解している。 ･生活設計に必要な要素について理解を深めている。 ❷【思考･判断･表現】 ･現在の自分自身の課題を踏まえながら、生活設計を具体的に描くことができる。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ･意欲的に生活設計に取り組んでいる。	○	○	○	1
	第８章 住生活をつくる 【知識・技能】 ･適切な住居の計画･管理に必要な知識･技能を身に付ける。 ･防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。 ･賃貸住宅の手続きや暮らしのマナーを知る。 【思考・判断・表現】 ・住居の機能性や快適性について問題を見いだし、解決策を考察、構想し、その内容を根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の住生活の充実向上を図るために実践しようという意欲を養う。	・指導事項 住居の機能 ライフステージ毎の住要求 快適、健康、安全な生活を支える住居条件 気候、風土、年代に応じた住文化 住居の設計 賃貸住宅 住生活と地域コミュニティ ・教材 教科書･生活学NAVI･プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・アプリでの住居設計図製作 ・Formsでの振り返りテスト	❶【知識･技能】 ･適切な住居の計画･管理に必要な技能を身に付けた。 ･防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ･賃貸住宅での生活マナーを理解している。 ❷【思考･判断･表現】 ･設定した課題について、解決策を構想し、実践を評価･改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けた。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ･住生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	第７章 衣生活をつくる 【知識・技能】 ・被服材料、被服構成、被服衛生について理解を深める。 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。 【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性について課題を設定し、解決策を考え、実践、評価する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりする。 ･日本の衣文化に込められる知恵や技術の継承に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 繊維の種類･特徴 布の性質と快適性 機能性繊維等開発動向 刺し子 ・教材 教科書･生活学NAVI･プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト	❶【知識･技能】 ･被服材料、被服構成、被服衛生について理解している。 ･ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 ❷【思考･判断･表現】 ･設定した課題の解決策を構想し、実践を評価し、新たな課題発見のための力を身に付けている。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしている。 ・日本の衣文化に込められる知恵や技術の継承に主体的に取り組み、意欲的に作品を完成させた。	○	○	○	16
	定期考査 Examination						

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
2学期（2nd semester）	第９章 経済生活を営む 【知識・技能】 ・経済の仕組みに関する理解を深める。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解する。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動する力を養う。 **・経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、考え、判断ができる力を養う。** 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について理解し、経済的自立に向けた短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。 ・自立した消費者として、物やサービスの購入のあり方や、エシカル消費、消費と環境とのかかわり等について積極的に理解しようとする態度を養う。	・指導事項 暮らしと経済 情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いの方法(キャッシュレス決済) 消費者の権利と責任 自立した経済生活と資産形成 ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト	**❶【知識・技能】** ・経済の仕組みを理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を理解できる。 ・自分の行動を検証できる。 ・生活情報を適切に収集・整理できる。 **❷【思考・判断・表現】** ・自立した消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考えた上で行動することができる。 ・経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、考え、判断ができる。 **❸【主体的に学習に取り組む態度】** ・家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について理解し、経済的自立に向けた短期・長期の経済計画について意欲的に取り組んだ。 ・自立した消費者として、物やサービスの購入のあり方や、エシカル消費、消費と環境とのかかわり等について積極的に理解しようとした。	○	○	○	8
	第５章　食生活をつくる 【知識・技能】 ・栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ・基礎的な調理の技術を身に付ける。 ・現代食生活の課題について理解を深める。 ・安全な食生活について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・現代の食生活の課題に対して、解決に向けて思考、判断する力を養う。 ・他国の食文化について調べ、異文化理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活の改善、向上に努めようとする意欲と態度を養う。 ・調理実習に積極的に取り組む意欲を育む。	・指導事項 栄養素の種類と特徴 食材と栄養素 食の安全 調理実習と調理技術 現代食生活の課題 世界の食文化 ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト	**❶【知識・技能】** ・栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的に理解している。 ・基礎的な調理の技術を身に付けている。 ・現代食生活の課題について理解を深めている。 ・安全な食生活について理解を深め、実践できる。 **❷【思考・判断・表現】** ・現代の食生活の課題に対して、解決に向けて思考、判断することができる。 ・他国の食文化について調べ、異文化理解を深めている。 **❸【主体的に学習に取り組む態度】** ・食生活の改善、向上のために、意欲的に課題に取り組んだ。 ・調理実習に積極的に取り組んだ。	○	○	○	12
	第２章　人生をつくる 【知識・技能】 ・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解する。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。 ・様々な生き方について理解を深める。 ・制度としての家族の捉え方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・現代の家族のあり方や役割りについて考えを深める。 ・現代の家族が抱える問題点について考察し、解決方法を考える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の家族観に「制度としての家族」等新しい視点を持とうという態度を養う。	・指導事項 家族に関する様々な言葉と定義 家事労働 職業選択と労働 社会制度としての家族 家族法 ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト ・Formsでの振り返りテスト	**❶【知識・技能】** ・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。 ・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めた。 ・様々な生き方について理解を深めた。 ・制度としての家族の捉え方を理解している。 **❷【思考・判断・表現】** ・現代の家族のあり方や役割りについて考えを深め、自分の考えをまとめることができる。 ・現代の家族が抱える問題点について考察し、解決方法を考え、発表することができる。 **❸【主体的に学習に取り組む態度】** ・家族に関する法律に関心を持ち、生活に結び付けようとしている。	○	○	○	6
	第５章　共に生き，共に支える 【知識・技能】 ・一人一人が自分の力を生かし、安心して暮らせる社会の実現に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ・共生社会について理解を深め、共生社会の実現に向けた課題を理解する。 【思考・判断・表現】 ・目指す社会や社会福祉の在り方について意見交換を経て、自身の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の一員としての自覚をもち、社会福祉、社会保障、地域での支え合い等の仕組みについて意欲的に理解しようとする態度を養う。	・指導事項 SDGs 共生社会 ユニバーサルデザイン、バリアフリー ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト	**❶【知識・技能】** ・家族・家庭生活を支える福祉について理解している。 ・共生社会について理解を深め、共生社会の実現に向けた課題を理解している。 **❷【思考・判断・表現】** ・目指す社会や社会福祉の在り方について、自身の考えを深め、レポートにまとめることができる。 **❸【主体的に学習に取り組む態度】** ・制度や仕組みを活用し、実現させたい社会について、具体的なイメージを持とうとしている。	○	○	○	4
	定期考査 Examination			○	○		1

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
3学期（3rd semester）	第３章　子どもと共に育つ 【知識・技能】 ・10代の健康が、妊娠、出産、子どもにつながることを理解する。 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 ・子どもの衣食住、安全に関する知識を深める。 ・育児を支える様々な制度を知る。 【思考・判断・表現】 ・現代の育児環境における様々な課題を知り、意見交換を経て、解決のための方法を考察、発表する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの生活と保育について、課題を見出し、社会の一員として、その解決に主体的に取り組もうとする態度を養う。	・指導事項 妊娠・出産・胎児と乳幼児の成長 子どもの生活 育児を支える制度 現代の親と子が抱える様々な課題 ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト	❶【知識・技能】 ・今の健康が自分自身の生涯と次の世代にも影響を与えることを理解している。 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 ・子どもの衣食住、安全に関する知識を深め、実践に結び付く技能を身に付けた。 ・育児を支える様々な制度について理解を深めた。 ❷【思考・判断・表現】 ・現代の育児環境における様々な課題に対して、意見交換、解決のための方法をまとめたり、発表したりすることができる。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて実践しようとする。	○	○	○	12
	第４章　超高齢社会を共に生きる 【知識・技能】 ・高齢社会の現状を知り、身近な問題であることを理解する。 ・高齢者の心身の特性を知る。 ・高齢社会を支える制度を知る。 【思考・判断・表現】 ・高齢者の心身の特性から生活課題について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会を支える一員としての自覚を促す。 ・社会福祉、社会保障、地域での支え合い等の仕組みを意欲的に理解しようという態度を育む。	・指導事項 高齢社会の現状 高齢者の心身の特性 高齢社会を支える様々な制度 高齢者が抱える生活課題 高齢社会を支える一員としての自覚と責任 ・教材 教科書・生活学NAVI・プリント ・端末で、授業の資料の配信 ・端末で、課題回収 ・Formsでの振り返りテスト	❶【知識・技能】 ・高齢社会の現状を知り、身近な問題であることを理解している。 ・高齢者の心身の特性を理解している。 ・高齢社会を支える制度を理解している。 ❷【思考・判断・表現】 ・高齢者が抱える生活課題について考え、レポートにまとめることができる。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会を支える一員としての自覚を持とうという意欲がある。 ・社会福祉、社会保障、地域での支え合い等の仕組みを意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	4
	第1章　生涯を見通す 【知識・技能】 ・ライフステージ毎の特徴や課題を理解する。 ・生活設計に必要な要素を理解する。 【思考・判断・表現】 ・ライフステージ毎の課題を踏まえ、現在の自分自身の課題を考える力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・今の自分について自己分析を行い、主体的に生活設計に取り組む態度を養う。	・指導事項 ライフステージ毎の特徴と課題 18歳成人 生活設計 価値観の形成 ・教材 教科書・生活学ＮＡＶＩ・プリント	❶【知識・技能】 ・ライフステージ毎の特徴や課題を理解している。 ・生活設計に必要な要素について理解を深めた。 ❷【思考・判断・表現】 ・現在の自分自身の課題を踏まえながら、生活設計を具体的に描くことができる。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に生活設計に取り組んでいる。	○	○	○	2
	定期考査 Examination			○	○		1

78

総授業時数 Total hours	78